2021年5月

からし種

カトリック片瀬教会

皆さん こんにちは

ブランチフィールド司祭

４月５日に鍛冶ヶ谷から司教様の任命で片瀬に移ってきました。
確かにその任命にびっくりしましたが、神様が全てに手を組んでおられると信じて希望と喜びを持って参りました。
皆さんの温かい歓迎が嬉しいです。古い司祭館をきれいにして私が楽に住めるようにという皆さんの努力に心から感謝しております。

実に新司祭として日本に来てから、片瀬が日本語学校を出たばかりの私の最初の教会でした。１９６４年の５月にモロニー神父様の助任として、２年間を片瀬で過ごしました。たどたどしい日本語を話しながらその時の青年たちと楽しく遊びました。

この間の日曜日にかつて青年であった彼らの二、三人に再会しました。五十数年の経過のうちに、私たちの若さはすっかり消えていますが、まだまだお互いに喜びがあります。

私はもう若くは無いですが、引退のつもりでここへ来たのではありません。誇るべき長い伝統の有る片瀬教会の皆さんとかかわりながら、コロナ時代であっても生き生きとした健康的な共同体として更に成長することになるように祈ります。

さしあたって許される限り、日曜日のミサを二つに分けて、皆さんが地区別ではなく自由に来られるようにしたいと努力します。

ご年配の皆さんを大切にしながら、子どもから青年の皆さんを引っ張って行きたいです。やはりひとつの共同体といえども家族です。子どものいない家族は寂しい。皆さん神様の御助けがなければ何もできないのでお互いのために祈りましょう。

ブランチ神父様をお迎えして

委員長　池尾昇治

ようこそいらっしゃいました。片瀬教会信徒全員が待ち望んでいました。心より歓迎いたします。

信徒の多くの方がブランチ神父様が来られほっとされているのではないでしょうか。一通り地区別ミサも一回りしてお分かりかと思いますが、神父様は温かくユーモアにあふれた気さくな方です。司祭館についても「どうぞ２階は上がってきてください。」とおっしゃっていただきました。本来だったら歓迎会を催し盛大にお祝いするところですが、コロナ禍のためそれもままならずひっそりとお迎えしているのが残念です。神父様は気さくな方ですので気軽に話しかけて親しくなりたいものです。神父様はご高齢でもあり、総務が中心となり有志の方々で、この教会で過ごされやすくなるよう改善してきています。さらにこれから本当に過ごしやすくなるために神父様と信徒が心を合わせ一致していきましょう。

司祭館改修について

司祭館改修については昨年から教会委員会で議論されてきましたが、ブランチ神父様着任に伴い、まず神父様が安全・快適に生活できることを優先にという観点から下記の改修を行いました。

１．手摺を玄関、階段、廊下、風呂場等、さらに信徒会館と聖堂間にも設置。
（できるところは信徒で設置。一部業者に依頼。信徒も利用できます。）

２．２階床の業者によるクリーニング。但しサンルームは痛みがひどく、フローリングに張替。（神父様はサンルームを執務室として利用）

３．２階食堂のキッチン改修（神父様は自炊もなさるのでコンロ台等を一新）

４．２階トイレ改修。ウォシュレット、便器の更新。

５．１階洗濯機、乾燥機を段差のある所から、キッチン奥の風呂場へ移動し、洗濯時の段差を解消。乾燥機が壊れていたため買い替え。

６．その他にも家具の移動、寝具の入れ替え、襖・障子の張替、整理・整頓・清掃等多くのことを総務部や信徒有志でおこなっています。

７．今後はまず電気配線の改修を行います。タコ足配線が多く危険な状態で、天井裏の配線等もかなり古く劣化して危険な状態にあると指摘されているため、司祭館全体の配線を改修します。

８．神父様は手作りの食事を好まれます。鍛冶ヶ谷教会から受け継ぎ神父様の食事をマドンナ会有志で作ることになりました。有志の方がいれば男性も歓迎。神父様に「男の手料理」を食べてもらいたいという方は申し出ください。

今後も対策必要な事案が発生しかねません。多くの信徒に関心を持ってご協力いただきたいと思います。

聖木曜日 4 月 1 日　　聖金曜日 4 月 2 日

★自由参列で行われました。

復活祭徹夜祭

4 月 3 日(土) 19:00

復活の主日・復活の聖なる徹夜祭、四人の洗礼志願者は光の祭儀によって、イエス・キリストとの出会い、感謝と喜びに満たされ洗礼式を迎える事が出来ました。

～受洗された方々からメッセージが寄せられました～

受洗にあたり

ヴィヴィアナ　N.A.

この度、藤沢カトリック教会主任司祭　芹沢神父様より洗礼を授かりました。まず最初に、私の洗礼名：聖ヴィヴィアナ様について、簡単にご紹介をさせていただきます。

４世紀に、キリスト教に反感を抱いていたローマ総督アプロニアヌスが、事故で片目を失ったことをキリスト信徒の責任にしようとしました。そのことで、キリスト信徒であった前総督フラビアヌスは顔を焼かれ、その妻も刑を受けました。彼らの娘ヴィヴィアナは、それでも信仰を守りとおしたため、アプロニアヌスが激怒し、柱につながれ鞭(一説では鉛のついた苔)で打たれ殉職したと伝えられています。

現在のローマ　テルミニ駅近くに小さな聖ヴィヴィアナ教会があります。私はどの様な困難の中でも信仰を守り抜き殉職された聖ヴィヴィアナ様の、信仰の深

さと意志に感銘を受け、迷うことなく聖ヴィヴィアナ様のお名前を授かることにいたしました。

私がカトリックの教えを最初受けましたのは、小学生の時に〇〇大学のシスター方の共同住宅に通っている時でした。聖書の一説を覚えている訳ではありませんが、その時に接して頂いたシスター方のお優しく包み込む暖かさに、カトリックの教えを守る方々はこんなにも心優しいのかと思ったことを覚えております。それから、何か心が乱れた時に教会に一人入り、ただ座っているだけで心が落ち着く様になりました。

イエス様を信じ、マリア様のお恵みを受けることは、自分の心を落ち着かせるだけではなく、自分の怠りや罪を認め、周りの人々を許すことにつながると、数年前にようやく気付きした。その頃より片瀬教会の御ミサと聖書講座に与らせて頂き、信仰の大切さを感じております。

信徒の皆様の暖かい優しさに触れ、私もこの教会の一員として、私が感じた包み込む暖かさを、周りの方々に感じて頂ける様にイエス様の教えを学んでいきたいと思っております。

日々の生活に追われて、聖書を開かずに一日が終わってしまうことが多いですが、どうぞこれから片瀬教会の一員として、よろしくお願いいたします。

洗礼式を終えて

マリア　S.Y.

皆様の温かい愛に包まれ、無事に洗礼のお恵みを授けて頂くことができました。ありがとうございました。

片瀬教会の三角屋根の白壁に金色の天使のレリーフがあります。７０年近く前、和服に身を包んだ母に手を引かれ、幼稚園受験のため山本橋を急ぎ足で渡りながら、金色の天使を指さし「あれが幼稚園なの？」と聞く私に「あれは教会。幼稚園はもう少し先よ。」と答える母。

つないだ手に伝わる緊張感とはうらはらに、金色の天使はとてもまぶしく、やさしく目に映ったのを今でも憶えております。

そして１４年間、カトリック精神における教育の賜物でしょうか、聖書の好きな一節一節はその後の人生の“道しるべ”となりました。

同時に、これまで数々のターニングポイントで言葉少なに寄り添って下さったクリスチャンの方々に心から“ありがとう！”とお伝えしたいと思います。

いつの日か、神の元へ導かれる時が来るならば、その日まで私なりにゆっくり学んで行きたいと思います。　皆様、よろしくお願い致します。

受洗への道

クララ　K.N.

私はキリスト教には全く縁のない生活環境の中で育ちました。強いてあげればキリスト教系の幼稚園に一年間通った事くらいでしょうか。その時に見たイエス様の紙芝居の一コマ、十字架上で亡くなったイエス様が、次の場面では生きているお姿のシーンは、幼な心にもとても不思議だった事を覚えています。多くの日本人がそうである様に、お正月には神社で初詣で、お盆にはお寺でお墓参りというごく平凡な生活を送っていました。

ところが４０代も半ば近くになって突然環境が変わりました。それは、妻を亡くし残された子どもと約７年間暮らしていた夫との結婚。夫は片瀬教会に通うカトリック信者でしたが、私はそのことについては結婚するまで全く知りませんでした。

当時の夫は余り熱心な信者ではなかったようで、教会に出かける姿は希で、私に信仰について話すことも殆どありませんでした。その夫も５年前に亡くなりましたが、晩年は毎週のように教会に通い、私も夫の送迎のために教会の前まではよく行っていました。

夫亡き後、やはり片瀬教会に通っていた義妹からの誘いもあり、深い考えもなく教会に通うようになりました。そしてクリスマスミサの時に目にしたのが聖書勉強会のチラシ。その頃には少しずつ関心を持ち始めていた私は随分と迷いましたが、思い切って申し込んで見ました。緊張しながら勉強会に臨んだ事が今も忘れられません。しかし、それまで全く聖書に馴染みがなかった私には、なかなか理解出来ない事ばかりでした。頭の中は疑問符だらけで、まるで昔の幼稚園生に戻ったかのようです。

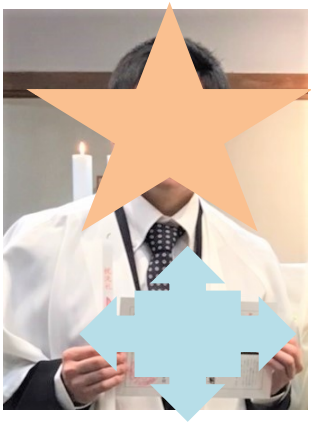
そんなある日、「やっぱり無理かな」と悩みながら神父様のお話を聞いていた時にふっとある想いが心を過ぎりました。それは苦労するかもしれないと思いながら、人とは一寸違った道を選んだ私自身のこと。自分で考え決断した道と思ってきましたが、もしかしたらそれだけではなく、何か見えない力に導かれていたのではないか。教会に通い出したのもその延長線上にあるのではないか。私にとっては思いがけない気付きでした。

それからは、私の中で少しずつ変化が起こり、主への祈り、感謝の気持ちが深まって行く様な想いがしています。そして今回の受洗に至りました。数年前には想像も出来なかった自分の姿です。

最後になりましたがこれまでの約三年間、心に響くお言葉で導いて下さったマリオ神父様、パスカーレ神父様、芹沢神父様に心から感謝申し上げます。そして片瀬教会の皆様、迷いながらもようやく一歩を踏み出すことが出来た私ですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

導かれて

ミシェル・ルカ　K.D.



私が初めて片瀬教会に足を運んだのは 2019 年の高校 3 年の時でした。母の勧めもありミサに初めて与りパスカーレ神父様にお会いしました。その年に大学受験があり試験のプレゼンの課題のテーマなどパスカーレ神父様に相談したり、私が作った資料を読んでもらったりしたきっかけで、翌年の 1 月からパスカーレ神父様の聖書入門講座に参加する事となりました。

しかし神父様は体調を崩されてしまった為、３月までしか講座に参加する事が出来ませんでした。講座に参加しつつ母の影響もあり洗礼を少しずつ考えていた矢先この様な事になり、気持ちが離れてしまうのではないか？と心配した母が片瀬教会の協力で司祭として来てくださった、山口神父様に相談をし、聖母訪問会のシスターと山口神父様との聖書講座が秋から始まりました。看護学生となった私は実習や課題などで山口神父様とシスターに迷惑かけてしまった事もありましたが、無事に復活徹夜祭に洗礼に与ることが出来ました。パスカーレ神父様には志願式後と洗礼式後にご報告させてもらう事が出来ました。看護の道に進む事を決めた私に洗礼の後押しをしてくれた母や、洗礼式までの間、私に聖書の勉強を教えてくださった山口神父様と Sr. ジェーン、私の洗礼をとても喜んでくださったパスカーレ神父様、洗礼を授けてくださった芹沢神父様に感謝致します。

私の洗礼名のミシェル・ルカは、パスカーレ神父様に何個か候補を出してもらった中から自分で決め母が語呂合わせを山口神父様に相談し私の洗礼名が決まりました。教会の事は分からず、まだまだ未熟な私ですが、これからも宜しくお願い致します

2021 年４月度 教会委員会報告

日時：2021 年４月 11 日（日）11：30～12：50

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、総務、福祉、財務、典礼、冠婚葬祭、宣教司牧、営繕、市内キリスト教連絡会、マドンナ会、教会学校、中高大青会、一粒会、広報、監査、片瀬修道院

□ ブランチ神父様より

・まず皆さんが私を迎えて下さるのに温かいものを感じています。皆さんがいかに努力してきたか分かります。私もできる限り皆さんの希望と必要に応えたいと思います。コロナで活動が制限されていますが、この共同体が生き生きとしてくるよう、子どもが戻ってくるように声をかけてあげてください。
・地区毎のミサが一日も早く解放されたいですね。5 月頃からだんだんと戻ってくるといいですね。
・勉強会もあっていいですね。できる限り合わせるので前にこのようなことがあったと言ってきてください。私はここに引退したつもりで来たわけじゃないので生き生きとしたいです。
・鍛冶ヶ谷から片瀬の移動はかなりエネルギーがかかったので 4 月はゆっくりしたいです。教会の周りを探検したいです。

□ 各委員の紹介と年間行事予定の確認（別紙）を行った。

・5 月 23 日(日)予定の福祉バザーは中止とする。また同じ日予定の第 5 地区教会学校合同ミサ＆運動会は何も連絡がないので中止の公算大。

□ ４月以降の日程確認

１．主日ミサについては引き続き、地区別ミサ継続とする。

□ 報告および連絡事項

１．司祭館改修（総務）

・神父様異動発表から着任迄 1 か月しかなかったため、神父様と協議しながら改修を進めてきた。
・神父様の生活上のリスク軽減（バリアフリー、清潔清掃）優先で進めた。

１）今までやったこと

①階段、廊下、玄関、トイレ、信徒会館前手摺の設置
②２Ｆ各部屋のクリーニング（約 7 万円）
③サンルームのフローリング張替、照明, カーテンレール交換（約 20 万円）
④１Ｆキッチン奥の風呂場へ洗濯機、乾燥機の移設（乾燥機破損）
⑤家具の移動、障子張り替え、清掃、食器移動、食料準備等（信徒作業）

２）現在、進めている作業

①２Ｆキッチン　調理台、コンロ、コンロホース等器具は購入済。
　配管工事 4 月 15 日
②寝室の洗面台改修。4 月 12 日購入。お湯が出るようにする。
③浴室手摺、床、浴槽の嵩上げ台設置。
④サンルーム内壁塗装
⑤階段正面の部屋の壁紙張替（この部屋を神父様の図書室とする）

３）神父様が生活され、見つかった不具合に対してはその都度対応していく。
４）神父様の食事の用意は、マドンナ会で 10 名ほど協力してくださる方がいる。神父様も料理を作るので分担を調整していく。
５）神父様より…電源のタコ足配線が危ない。鍛冶ヶ谷教会でも気を付けていたが、火災発生の要因ともなるので改修した方が良い。

６）２Ｆふすま２枚の修復も行う。

２．復活祭ミサ参列者数　４月３日復活徹夜祭 67 名　４日復活祭 138 名(内、信徒会館 16 名)

３．中高大青会より

１）堅信式　９名申込有。3 月 28 日に第１回堅信講座（出席者８名)。4 月 18 日に第２回目予定。

２）４月５日　ボーリング大会開催（参加８名）

４．教会学校より

１）４月 10 日に活動を再開、４名参加した。新しいお子さんも参加してきたので大事に育てたい。

２）６月６日は、２名が初聖体を受ける。

□　検討・討議事項

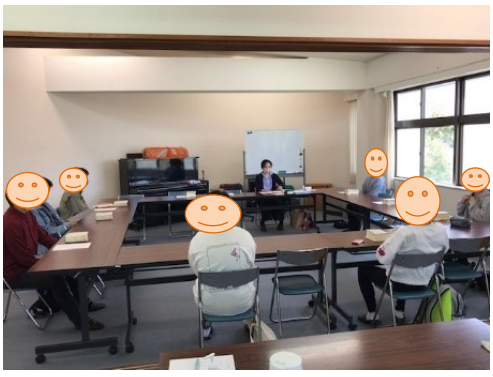
１．ブランチ神父様より、主日のミサを２回にしてもいい、10 時の他は７時か８時でもいい、との発言があった。今後のコロナ感染状況等を見ながら検討していく。

２．典礼より、子どもの侍者はやりたい子どもにやらせてあげたい、希望を申し出る子どもは何人でも受け入れることにした。さらに、中高大青年からも侍者希望あれば参加してもらうことになった。大人は温かく指導、見守り、失敗や間違いをとやかく言わないこと。

３．信徒大会代わりの資料に対する意見があり。信徒に考えて頂きたい意見４件について、公表しミサ後意見をもらう時間を作る（地区別のため４回実施)。その後意見集約して委員会で検討する。

以上

中高大青会　堅信講座



ただ今９名の高校生から青年が、６月 20 日の堅信式に向け、堅信講座を受講し準備を進めております。幼児洗礼より今まで神様に守られ教会共同体の皆様に信仰を育てて頂きながら成長してきた子どもたちが、いよいよ霊的に新たにされ、独り立ちに向かう時が来ました。新たに聖霊の賜物を受け信仰が強められますように、どうぞ皆様お祈りとお導きをお願い致します。

教会学校再開！！

4月10日(土)一年以上ぶりに教会の庭に子ども達の楽しそうな声が響き渡りました。2020年度は、コロナウィルスに悩まされほとんど活動休止状態の一年間でした。今年度は、初聖体を受けるお子さんも控えているので、充分感染対策をしながら、再開すると決め、準備をすすめていたものの、子ども達の顔を見るまで、どうなる事か不安でした。ですが、1人、また1人、また1人と集まり、4名の参加、幼稚園生から、小学校6年生まで、学年はバラバラで、初対面のお友達もいたにも関わらず、終わる頃には皆とっても仲良くなっていました。そして、久しぶりの聖書のお勉強や、ブランチ神父様のお話を熱心に聞いている子ども達の姿、また、イエスさまと素直に向き合って祈っている姿を久しぶりに見て、また、信仰の新しい芽をしっかり、見守り育てなければと、心に刻んだ次第です。あの日の子ども達の綺麗な真剣な眼差しを忘れません。今後も感染対策をきちんとしながら続行して行こうと思っております。

日本の教会の歴史　（四十五）

プチジャンと潜伏キリシタンの出会い

ペリー来航以後、世界の注目が日本に集まり始めました。

1862年、ローマでは教皇ピオ9世が日本26聖人の列聖式を行い、横浜ではパリ外国宣教会のジラル神父が日本で初めての天主堂を建立しました。翌年にはフュレ神父が長崎に大浦天主堂を建設し始めます。そして1864年、病気になったフュレ神父に代わってプチジャン神父が沖縄から長崎に派遣され、その年の暮れに大浦天主堂が完成します。

1865年3月、完成したばかりの大浦天主堂に十数人の農民が訪ねてきました。そのうちのひとり、イザベリナ杉本ゆりという女性が、プチジャン神父に近づいて尋ねました。「サンタ・マリア様のご像はどこ？」彼らはフランスから運ばれて祭壇に安置されていたマリア像の噂を聞いて、隣村の浦上からやって来た隠れキリシタンたちでした。その夜、さっそくプチジャン神父は信徒発見のニュースを上司のジラル神父に書き送りましたが、しばらくしてその便りがローマに届くと、ローマ教皇ピオ9世はよろこびの涙を流したと伝えられています。

当時、天主堂建設はあくまで外国人居留区に住む外国人のためのもので、日本人に対する禁教令は解けていませんでしたので、プチジャン神父は日本国内では信徒発見を隠しました。そして仲間のロカイン神父とともに夜遅く、ひそかに浦

上に通い、信者の信仰教育にとりかかりました。いくつかの農家を「秘密教会」として進められたこの活動は、しだいに周辺地域に影響を及ぼしていきます。

なかでも浦上の高木仙右衛門（せんえもん）はひときわ目立つ人物で、自分の子供たちを神学生として宣教師に預けました。信徒発見から 2 年と経たないうちに、日本人の小神学生が大浦天主堂のそばで勉強を始めたのです。

（結城了悟師による同名の著書をベースに構成）

大浦天主堂・信徒発見のマリア像（国宝）

今さら聞けない　教会の基本　　5 月は聖母の月

風薫り、花が咲き、鳥は楽しそうにさえずる、1 年でも最も美しい月が 5 月ではないでしょうか。そんな 5 月をカトリック教会では、「聖母の月」と呼んでいます。5 月は聖母マリアのイメージでしょうか。この起源についてはいろいろな説があるようですのでご紹介します。一つは、美しい少女を 5 月に「メイ・クイーン」として選んでいたのが、「何と言っても一番美しいのは聖母だ」ということで、5 月が聖母に捧げられるようになったという説。さらに、5 月の新緑の美しい季節は、色々とりどりの花々が咲き乱れる季節でもあり、ヨーロッパでは古くからこの美しい 5 月は聖母にふさわしい月とみなされ、「聖母月」と呼ばれるようになったという説もあります。各地の教会では、この聖母マリアをたたえるいろいろな行事が行われてきました。5 月の１か月間、毎朝教会でロザリオの祈りを捧げたり、聖母マリアの歌を歌ったりして５月３１日はその締めくくりとして、荘厳にマリア行列をする教会もあるそうです。ある教会では、５月に聖母マリアのご像の手に麦の穂を持たせる習慣があるそうです。それは、５月の小麦の収穫が豊作であるように祈ることから、この習慣が生まれたと言われています。どのような説も習慣も、イエス・キリストに従い、最後まで忠誠を尽くし、私たちの母となって下さった聖母マリアを思い、聖母に倣うように努めていきたいと願う人々の心からこの信心が自然に生まれてきたのでしょう。

聖母の訪問の祝日（5 月 31 日）

ところで、ご存知のようにイエスを宿したマリアが聖霊に導かれてエリザベトを訪問したこと（ルカ１・39―56）は、すでに古代末期から祝われていたそうです。ローマでは８世紀には待降節中に聖母の訪問が祝われ、東方教会は昔から 7 月 2 日にその祝日がありました。第二バチカン公会議後の典礼刷新で、「エリザベトはもう六か月になっている」（同 1・36）という聖書の記述に従って、この祝日は「神

のお告げ」(3 月 25 日) と「洗礼者聖ヨハネの誕生」(6 月 24 日) の間に移されました。4 月の初めは復活祭と重なることが多いので、この祝日は、聖母の月とされている 5 月の最後の日に定められました。

次の言葉の共通点は何でしょう？

マドンナ、ノストラダムス、ノートルダム

マドンナはイタリア語で Ma donna (= My lady)

ノストラダムスはラテン語で Nostra Dammus (= Our lady)

そのフランス語訳が Notre Dame (= Our lady)

いずれも聖母マリア様のことだそうです。

◆◆5 月の典礼◆◆

2 日(日)	**復活節第５主日**	23 日(日)	**聖霊降臨の主日**
3 日(月)	聖フィリポ 聖ヤコブ使徒	24 日(月)	教会の母聖マリア
9 日(日)	**復活節第６主日**	26 日(水)	聖フィリポ・ネリ司教
14 日(金)	聖マチア使徒	30 日(日)	**三位一体の主日**
16 日(日)	**主の昇天(復活節第７週)**	31 日(月)	聖母の訪問

お知らせ

◆信徒大会に代わる資料について

今年は信徒大会を中止とした代わり資料を配布致しました。それに対し、**ご意見 4 件、ご質問 1** 件ありました。これらについて、「5 月以降にその内容の紹介とさらなるご意見を頂戴する機会を設けさせて頂きます。」とお知らせに載せています。現在も地区別ミサにより当分信徒が一堂に会することができないため、4 回のお知らせ後順次ミサ後に開催させて頂きますのでよろしくお願い致します。

◆まりあ食堂ボランティア募集！

手作りのお弁当を引き続き提供しています。子どもたちをはじめご家族からも喜ばれています。　　お問い合わせ　まりあ食堂　090－5786－2545

◆ “The 説教”　～宣教司牧部のお知らせ～

地区別ミサのため、各ミサのお説教の CD を聖堂入口に置いてあります。

≪信徒・修道者・司祭による共同宣教司牧 交流会・養成研修会≫

＝2021 年度研修＝

現在、横浜教区 共同宣教司牧サポートチーム神奈川では下記研修会を受け付けています。その他本年度の研修一覧表は聖堂入口に掲示しています。

問合せ先：池尾委員長迄（各研修会の詳細、申込用紙は委員長が保管しています）

交流会・養成研修会〈対面形式〉	講座担当者・委員会	開催予定	募集有無 締切日
④:青少年対象の各企画	横浜教区 青少年委員会	4/18：高校生の集い(山手教会) 5/15：学連の集い(山手教会) 6 月：青年の集い 1 日企画予定 ※その他は未定	○ 各企画毎
⑥：管理・運営奉仕者養成	保久 要 (司祭・教区事務局長)	2021 年 5 月 29 日(土)開講 全 3 回 （新子安教会）	○ 5/15
⑦：キリスト者のための対話法 －傾聴奉仕者養成－ 基礎コース	小野 恭世 (イエズス孝女会)	2021 年 6 月 5 日(土)開講 全 6 回 （逗子教会）	○ 5/23
⑧：キリスト者のための対話法 －傾聴奉仕者養成－ 実践コース		2021 年 6 月 16 日(水)開講 全 6 回 （茅ケ崎教会）	○ 5/30
⑪：祈りのヘルパー養成 第 1 ステージ	植栗 彌 (イエズス会司祭) 養成担当チーム他	2021 年 5 月 13 日(木)開講 全 18 回 （二俣川教会）	○ 4/30

＊日程・開催場所が変更になる場合がありますので、ご承知・ご了承ください

◆5 月・6 月の主日ミサ予定

5 月 2 日　腰越・七里ガ浜・他
9 日　片瀬海岸・鵠沼・他
16 日　片瀬・片瀬山・目白山・他
23 日　津・津西・西鎌倉・他
30 日　腰越・七里ガ浜・他

6 月 6 日　片瀬海岸・鵠沼・他
13 日　片瀬・片瀬山・目白山・他
20 日　津・津西・西鎌倉・他
27 日　腰越・七里ガ浜・他

2021 年 5 月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251－0035　藤沢市片瀬海岸2－2－35
TEL.0466－22－4646　FAX.0466－25－7909
https://www.catholickatasechurch.com